



夏休みといえば、読書感想文！^^今回は、2年生の図書委員が読書感想文の課題図書を紹介をしますので、1,2年生のみなさんはぜひ読書感想文を書くときの参考にしてみてください☆☆

上手な人に聞いてみた！！

読書感想文への取り組み方！



もうすぐ、待ちに待った夏休みですが、“読書感想文どうしよう～(*_*)”と頭を悩ませている人もいるのではないのでしょうか？そんな方は必見！読書感想文コンクールで素晴らしい成績を残されている武高生 K・H くん、読書感想文についてのインタビューを行いました。これを読んで、ぜひ今年の読書感想文への取り組みに活かしてください！

1. 本を選ぶときに気を付けていることは何ですか？

自分に引き寄せて読めそうな、同い年ぐらいの人が主人公の小説を選ぶことが多い気がします。そっちのほうを読むのも楽しい！（楽しむことも大切！）



2. 読むときに気を付けていることは何ですか？

誰かのセリフや好きだなと思える言い回し、“これ、作文に入れたい！”と思ったものなど、感動したところにガンガン線を引きながら読みます。何回も読む時間ないですしね～。

（図書館の本などには、付箋を貼ったり、メモを取ったりするとO）

3. 書くときに気を付けていることは何ですか？

あらすじをだらだら書きすぎないことと、わかりやすい文章にすることくらいですかね。

（わかりやすい文章＝最後に何を言いたいのかがはっきりしている文章/『伝える力』と『地頭力』がいきなり高まる東大作文』

西岡吉誠【著】[東洋経済新報社]より 例：みんなにも読んでほしい！主人公のように～な人になりたい！～したい！）

読書感想文の課題図書紹介！

図書館に come on!!

『ヒマラヤに学校をつくる：カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦』



貧しいけれど、きっとここは世界一幸せな学校。人身売買、児童労働…貧困のネパールで、ゼロから学校づくりに挑んだ若者と子どもたちの感動の記録。

【みどころ】22歳の僕は盲目の母と暮らす貧しい少年ゴビンダと出会う。初めて字を教わり、大喜びするゴビンダ。『字をたくさん覚えたら、お母さんの目が見えるようになる？』。その言葉は鋭利なナイフのように僕の胸をえぐるのだった。作・吉岡大佑



『この川のむこうに君がいる』



災害が起き「なぜ」と問いかける人が生まれる。なぜ我が家が、なぜ自分かと。震災後、新たな地で高校生活を始めた梨乃の16歳の心の軌跡。

【みどころ】これは心の奥を静かに揺すります。抑制のきいた悲しみの表現。のびやかな音の表現と新しい楽器に挑戦する不安や喜び。いろいろなものがつまっています。(作家・赤羽じゅんこ氏) 作・濱野京子



『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ：あなたがくれた悲しみ』



警官が無抵抗の黒人少年を射殺した。真実がゆがめられる中、目撃者の女子高生が立ちあがる。映画化された米国の社会問題に迫る話題作！

【みどころ】幼馴染みの理不尽な死を目撃した黒人少女の視点から、現代アメリカの黒人を取り巻く厳しい現実が描かれています。なぜ友は撃たれたのか、おびえながらも声をあげた少女の勇気に、読者は心揺さぶられることでしょう。 作・アンジー・トーマス 訳・服部理佳



◇新任の先生方のおすすめの本紹介◇

①石橋 和幸先生 (数学)

『FACTFULNESS』

ハンス・ロスリング 他【著】(R経 RP 社)

<おすすめポイント>

「質問です。世界の1歳児で、なんらかの予防接種を受けている子どもはどのくらいいる？ A 20% B 50% C 80% 答えは本書に。」この帯を読んで買いました。世界の真実を知ってください。



②川原 紘美先生 (数学)

『NASAより宇宙に近い町工場』

植松 努【著】(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

<おすすめポイント>

“どうせ無理”という言葉がこの世からなくしませんか？”という文章が印象的な作品です。



7月閉館カレンダー

8月閉館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					19	20					1	2	3
					X	X					16:30	16:30	X
21	22	23	24	25	26	27	4	5	6	7	8	9	10
X	16:30	12:45	16:30	16:30	16:30	X	X	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	X
28	29	30	31				11	12	13	14	15	16	17
X	16:30	16:30	16:30				X	X	X	X	X	X	X
							18	19	20	21	22	23	24
							X	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	X
							25	26	27	28	29	30	31
							X	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	X